

ダイヤモンドコアビット取扱説明書

災害防止と、安全にご使用いただくために、ご使用前に、このダイヤモンドコアビット（以下、コアビットという。）の取扱説明書と使用機械の取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

取扱を誤ると事故やけがの恐れがあります。取扱を誤った場合、発生が想定されると危険、損害の程度をつぎの2段階に分類し、表示しています。

警告

取扱を誤った場合、死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合。

注意

取扱を誤った場合、軽傷を負う可能性が想定される場合、又は物的損害のみ発生が想定される場合。

1. 作業環境 服装 保護具

警告

- 作業場所には関係者以外は近づかないでください。コアビットが破損したとき、飛散した破片が当たり、けがの危険があります。
- 引火や爆発の恐れのある場所では使用しないでください。コアビットは使用中に火花を発生することがあります。
- 作業者は防じんメガネ、安全靴、保護帽の保護具を必ず着用して下さい。また、湿式用コアビットをご使用の場合は、感電防止上、ゴム長靴、ゴム手袋を着用してください。
- きちんとした服装で作業してください。ネクタイ、袖口の開いたもの、編み手袋などは身につけないでください。長髪は帽子やヘアカバーでおおってください。回転中のコアビットや機械の回転部に巻き込まれて、けがをする危険があります。

-1-

注意

- コアビット、チューブ、カップリングなどのネジ部には、ゴミの付着がないことを確認しグリスを塗ってください。

4. 使用中

警告

- 回転中のコアビットには、絶対に手や身体で触れないでください。けがの危険があります。
- 穴開け、コア採取以外の作業には使用しないでください。
- 急激なこじり、たたき、大きな衝撃などを与えないでください。コアビット刃部の破損やシャンクが変形して危険です。
- しっかりとした足場で、身体の安定を保って使用し、機械に振り回されたり、落としたり、ぶつけたりしないでください。転倒してけがをしたり、コアビットが破損することがあります。
- 加工する被削材をしっかりと固定してください。作業が不安定になり、被削材が動いたり、欠けて飛んで、けがの危険があります。
- 貫通穴を加工する場合は、貫通間際に押し付け力を弱めてください。貫通時のいきおいで身体が不安定となったり、飛散した切削片が当たったり、けがの危険があります。
- 作業中に異常音と、異常振動が生じた時は、直ちに作業を中止してください。異常音、異常振動のまま使用しますと、コアビットが破損して、けがの危険があります。

注意

- 無負荷回転して異常がなければ、刃先をゆっくりと被削材に当て、刃先を完全に食いつかせてください。刃先が振れてコアビットの刃部が破損し、けがの危険があります。
- 乾式用を除き、作業中は必ず十分な注水を行ってください。注水が不十分の場合は、異常過熱と切味不良の原因となります。
- 穴開け途中では絶対に機械を止めないでください。回転を止めるときは、コアビットを静かに引き抜いてから行ってください。押し付けた状態で回転を止めると、刃先が被削材にかみ込み、コアビットが抜けなくなったり、コアビットの刃部

-3-

注意

- 作業者は、防じんマスク、耳せん等の保護具を着用してください。

2. 使用前

警告

- 使用するコアビット、チューブ、カップリングにひび割れ、欠け、変形がないことを眼や手で確かめてください。
- コアビットの刃部、シャンク部に異常摩耗がないことを確かめてください。これらの傷や刃部、シャンク部の異常摩耗を発見した場合には、絶対にコアビットを使用しないでください。コアビットが破損し、けがの危険があります。
- コアビットの最高使用周速度は15m/sです。最高使用周速度を絶対に超えないでください。
- 使用する機械は、回転機構の機械で使用してください。振動機構との併用は禁止。

注意

- コアビット、チューブ、カップリングなどの形状を変えるような加工をしないでください。必要な場合は、弊社にご相談ください。

3. 取り付け

警告

- コアビット、チューブ、カップリング等の取り付け時には、動力源を『切り』にしてください。不意に機械が起動し、けがの危険があります。
- 機械のコアビットを取り付ける主軸にガタや振れのないものをご使用ください。主軸の振れが大きいと、コアビットが破損し、けがの危険があります。
- 機械主軸への取り付けは確実に行ってください。
- 固定式機械の設置時には、機械のベースのついているレベルボルトで水平、垂直を調整し、しっかりと固定してください。レベル不良により機械がずれる原因となり危険です。

-2-

が破損することがあります。

- 切れ味が悪くなった時は、目立て（ドレッシング）をしてください。そのまま使用すると、異常過熱を起こしてコアビットが破損し、けがの危険があります。
【目立て（ドレッシング）のやり方】
粗めの砥石または軟質被削材（コンクリートブロック、レンガ、砂岩）に穴開けしてください。
- チューブ内に被削材のコアが詰まっている場合は、コアビット、チューブ、カップリングに変形を与えないように取り除いてください。

5. 使用後

警告

- コアビットを取り外すときは、機械の動力源を『切り』にしてください。機械が不意に起動し、けがの危険があります。

注意

- 使用直後のコアビットは、高温になっている場合がありますので、手などで触れないでください。コアビット、チューブ、カップリングなどを取り外す場合は、専用レンチを使用し、シャンクを変形させないでください。

6. 保管 取扱い

注意

- コアビット、チューブ、カップリングにひび割れ、欠け、変形がないことを眼や手で確かめてください。
- コアビット、チューブ、カップリングなどを取り外して保管する場合は、落下や衝撃が加わる恐れのないところに、きちんと保管してください。

TAKEKAWA DIA TOOL INC. 〒515-0834 三重県松阪市岡山町32番地
TEL0598-63-1231 FAX0598-58-2047
株式会社 ラクガフタイムツール
e-mail:info@takekawa-ind.com

-4-